

保存版

2022年(10月)



もうすぐ 1年生♪



～ 4月に小学校入学を迎える保護者の皆様へ ～



糸満市教育委員会

幼児期の遊びは大切な学びです！

幼児期は、人格形成の基礎を培う重要な時期です。この時期の子ども達は、遊びを中心として、環境（人・自然・もの・こと等）と関わりながらたくさん
のことを学びます。

子ども達は、一人ひとり、自分の好きなことややってみたいことがあり、集中したり、没頭したりして夢中になって遊ぶことで、様々なことを経験し、それらが重なり合っ
て、豊かな学びとなり、小学校以降の学びの基礎となります。

小学生になることを楽しみにし、小学生になりたいという意欲を育てます。



1年生の生活は

スタートカリキュラムから！！

小学校では、時間割に基づき、各教科の内容を教科書などの教材を用いて学習します。生活や学ぶスタイルが幼児期とは異なるため、子ども達に戸惑いが生じることもあります。そのような戸惑いを和らげ、「明日も学校へ行きたい」という学校生活に対する意欲と安心感を持てるように、スタートカリキュラムを作成し指導内容・方法を工夫しています。

《大切なことは》

自分で、好きなことや、やりたいことをみつける

楽しさや喜び、悔しさを共有する仲間がいる

共感し、温かいまなざしで見守る保育者がいる

興味・関心

おもしろそう やってみたいな！

探究心・試行錯誤

〇〇してみよう！ どうなるのかな？

気持ちの調整

ちょっとまって！ かんがえる

学びの芽生え

仲間の中で 学び合い 育ち合う

幼小で 育みたい力

生活する力

人と関わる力

学びの芽生え ~ 自覚的な学び

幼児期に、心を揺り動かされるような経験をたくさんすることで「話したい」「伝えたい」「書きたい」などの気持ちが育ち、その意欲や態度が小学校以降の学習につながっていきます。

自覚的な学び

対話的な展開で 考えを深める

安心感をもって 学習できる雰囲気 (歌やゲームを取り入れる等)

幼児期の経験を生かして、成長につなげる (「園ではどうだった？」等)

みんなで 楽しい学校生活を つくっていきましょう。

子ども主体の学習活動を展開 することで自立につなげる (学ぶ意欲や興味・関心をきっかけに！)

幼小連携・接続

『発達や学び』のつながり (幼児と児童・職員間・カリキュラム) を意識した取り組み

幼児教育施設 — 31園 (保育園・こども園・幼稚園)

小学校 — 10校

子どもの発達や学びをつなぐ

子どもは、幼児教育施設から小学校へ移行していく中で、突然違った存在になるわけではなく、発達や学びは連続しています。

糸満市では、お子さんが安心して入学し、期待をもって生活できるように、幼児期の教育と小学校教育との滑らかな接続を考え、幼児教育施設と小学校の連携（幼児と児童の交流・職員の合同研修など）を行っています。

《幼児・児童間の交流》



↑ 1年生お招き会 など

《職員間の連携》



↑ 保育参観

幼小教育の 相互理解



↑ 合同研修 (連絡協議会)

～ 幼小をカリキュラムでつなぐ～

アプローチカリキュラム (5歳児後半) 幼児期の育ちが、小学校の学びにつながるように工夫されたカリキュラム

スタートカリキュラム (入学当初) 幼児期の学びを基礎として、主体的に自己を発揮していけるように工夫されたカリキュラム

※ 幼小＝幼児教育施設と小学校

～ 楽しい学校生活を送るために ～ 家庭でできること

小学校への入学準備は、親子で楽しんで取り組みながら入学への期待を膨らませ、小学生になるという自覚を育む時期です。

あれもこれもと急がずに、子どもの成長を見守りながら、その子に合わせたスピードで取り組みましょう。大人が思っている以上に時間がかかったり失敗したりすることもあります。しかし、そのすべての経験が子どもの成長に必要な貴重な体験です。

子どものよさや可能性を見つけ、大切に伸ばしていきましょう。

規則正しいリズムを大切にしましょう

規則正しい生活リズムは、子どもの自立の基礎となります。

まずは、“早寝・早起き・朝ごはん”から始めてみましょう。



自分でできることは

自分でさせましょう

自分でできるところは、自分でするように見守りながら、**頑張りを認め、励ます**ことが大切です。

大人が手本となりましょう

子どもは、まわりの大人を見て育ちます。**身近な大人が手本**となり、社会のきまりやマナーを教えることが大切です。



家族のふれあいを大切にしましょう

一緒にクッキングをしたり、運動や絵本を読んだりする等、**親子のふれあいの時間をつくり、感動体験を共有**することで、豊かな感性が育まれます。

一緒に考え、最後は

子どもに決めさせましょう

「どうしたらいいと思う？」等、子どもと一緒に考えてみましょう。何かができるということではなく、**考えることがおもしろい、考えることに価値がある**と思えることが大切です。



4月から、それぞれの学校で1年生となる子ども達が安心して学校生活を楽しむ姿、自信をもって意欲的に学ぶ姿がたくさん見られることを楽しみにしています。

“夢と希望に向かって輝ける子ども達”を、共に育てていきましょう。